

第五十九回南日本文化賞
化賞の贈賞式は一日、鹿児島市の城山観光ホテルで開催された。医療部門の受賞者は田川村セントラル館長(田川美理事長)、民俗芸能部門の受賞者は日出夫氏(七五)▽民俗芸能部門の奄美の唄者、大島紬姿の築地俊造氏(七四)▽医療部門の医療ネットワーク(鹿児島市、後述)。

受賞したのは、環境部門の鹿児島大学名誉教授、屋久島環境文化振興団(同市、豊山博美理事長)。

勇氣を与えてくれたことを心から喜びたい」とあいさつ。中馬清福と選考委員長がそれを交換したおかげ」と感謝。大島紬姿の築地氏は多くの人が協力してくるおかげ」と感謝。築地俊造氏は「地方に住んでいても、一つのこ

とを探求すれば真理に

つた」と選考経過を報告した。水溜社長が賞

状を贈呈し、仮屋基美副知事から副賞の県知事賞として、桜島とアダムなどをあしらった記念盾が手渡された。

田川氏は「みどり遺唐使」を率いて中国で植林した時の様子を説明し、「緑があれば人が集まる。現地も含め、明るい社会をめざす」と今後の活動に意欲を見せた。鹿児島交響楽団の十島雅藏・樂団長は「創設二十五年、定期演奏会を欠かさず続けた。これからも親しみがあり、県民が誇れる樂団でありたい」と語った。

第59回南日本文化賞贈賞式

南日本文化賞 2氏2団体を表彰

県民に感動と勇気

代に伝えたい」と話した。

「この医療ネットワ

ークの河野嘉文理事長は

「病気の子供と家族を

何とか応援したいと作

った団体。これからも

続けて、という賞だと

思ふ」と今後の活動に意欲を見せた。



南日本文化賞を贈られた(前列左から)田川日出夫氏、築地俊造氏、なども医療ネットワークの河野嘉文氏、鹿児島交響楽団の十島雅藏氏。後列は介添人